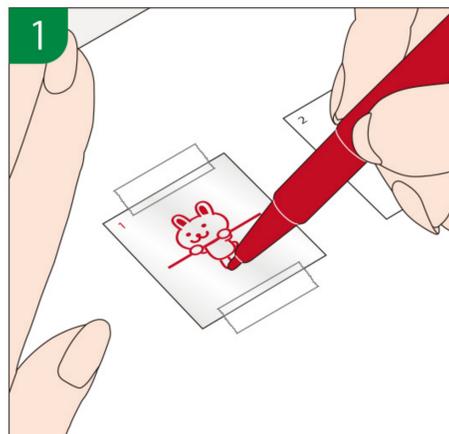


プラ板で細かい絵のアニメをつくろう!

プラ板は、専用のプラスチック板に絵を描き、加熱によって小さく固めて加工する工作です。プラ板を使えば、大きめに描いた原画を縮小して使えるので、より細かい絵柄のフィルムをつくることができます。

- 準備するもの
- プラ板(0.4mmまたは0.2mm)
 - ダウンロードしたプラ板用下絵
 - フィルム枠用の厚紙
 - カッターナイフ
 - ハサミ
 - セロハンテープ
 - 両面テープ
 - 油性ペン
 - オープントースター
 - アルミホイル
 - はしまたはピンセット
 - 本などの重し



プラ板の厚みにあわせて(0.4mmの場合は3cm×4cm、0.2mmの場合は3.5cm×5cm)、カッターナイフで下絵の枚数分カットします。下絵にセロハンテープ仮どめして油性ペンで絵を描きます。すみに番号をふっておくと台紙に貼り付ける際に便利です。
※プラ板は厚みによって縮む割合が違います。



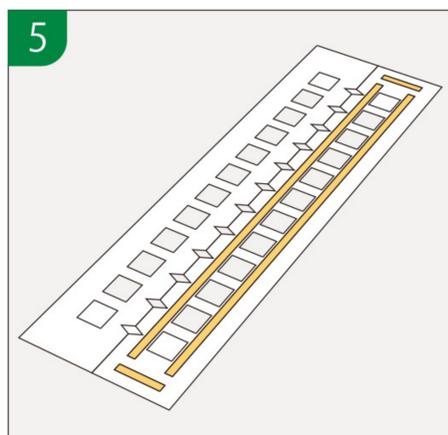
シワシワにしたアルミホイルを広げ、1cm以上間隔を開けてプラ板を並べます。オープントースターで、プラ板の説明書通りに加熱します。



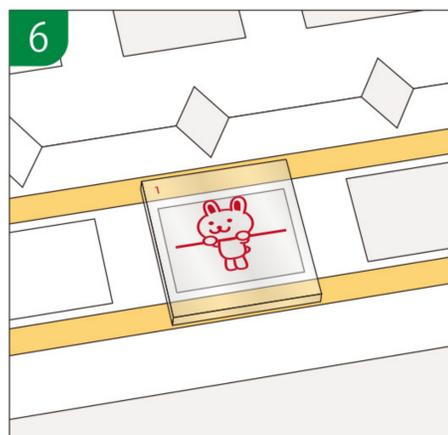
加熱し終わったプラ板は、はしやピンセットで平らなところに取り出し、上から平らなもので押さえて反りを直します。
※加熱したプラ板は熱いので、やけどに注意してください。



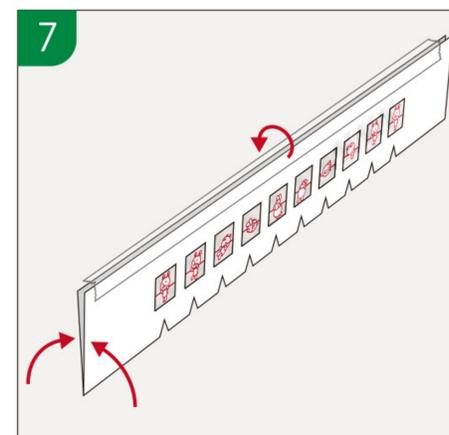
フィルム枠をダウンロードして厚紙に印刷します。カッターナイフで周囲と窓の部分を取り取ります。中央の切り欠きは、折りたたんでハサミで切り取ります。



約5mm幅に切った両面テープを窓の上下と両端に貼ります。



プラ板の向きに注意して、窓に合わせて番号順に貼り付けます。
※映写すると上下左右が反対に映ります。



台紙を真ん中で折りたたみ、セロハンテープで止めて完成です。



日本ガイシ
NGKサイエンスサイト